

## 7. ライフスタイルの提案

# ライフスタイルの提案について

前章で提案したまちの将来像が実現すると、前橋市中心市街地においてどのようなライフスタイルが実現出来るようになるのか、下記の5つの異なる立場やシーンにおける「とある一日」を紹介します。

①ビジネスシーン

②家族で過ごす休日

③子育て世代

④シニア世代

⑤大学生

ここで紹介するライフスタイルの提案は、将来の中心市街地の日常生活における一日に過ぎません。エコ・ディストリクト、ミクストユース、ローカルファーストの方向性により見出され、実現化されたまちなか空間において、多様な理想の暮らし方、働き方がある中、あなたの理想と考えるライフスタイルに近いものもあるのではないのでしょうか。

## ①ビジネスシーン

8:30  
通勤途中のオープンカフェで  
モーニング



9:00  
徒歩でオフィスへ



9:10  
リノベーションされた  
シェアオフィスでPC作業



12:00  
キッチンカーでランチBOXを  
購入



12:10  
公園の緑の中で食事



13:30  
公園でスマートフォンやタブレットを使い  
TV会議 (freeな通信環境)



19:00  
仕事を済ませ、友人と川沿いで地  
ビールを楽しむ



21:30  
自動運転バスで帰宅



通勤途中のオープンカフェでニュースを読み、気持ち良いけやき並木の下を歩いて出勤。職場のシェアオフィスにはクリエイティブなビジネスパーソンが集まり、いつも有益な情報が行き交っている。いつも気分に合わせてランチを選ぶ。今日は天気が良いので公園へ。そしてそのままクライアントとTV会議。仕事を終え、気の合う仲間と乾杯を交わし、つい飲みすぎてしまう。それでも自動運転バスは安全に自分を送ってくれるし、決済も顔認証のため心配なし。ビジネスマンのとある一日。

## ②家族で過ごす休日

7:00  
家族で公園、川沿いを  
ウォーキングやランニング



8:00  
定期的に路上で開催している  
ファーマーズマーケットで朝食、買い物



10:00  
家族それぞれ、趣味の時間を過ごす  
父：書店併設カフェで読書、母：家庭菜園の世話、子：近くに住む友人宅へ

〈父〉



〈母〉



〈子〉



このまちは本当に良く晴れる。まぶしいくらいの朝日に起こされたらランニングに行くのが我が家の日課。はじめは夫婦の日課だったが、いつからか子供も付いて来るようになった。そのまま家族でファーマーズマーケットを楽しむ。それぞれの時間を過ごした後は、家族で大きな公園へ。木陰にシートを広げ、ランチを食べる。とても気持ちが良い。夜はスポーツバーでVRを駆使したスポーツ観戦。現地にいるような臨場感がすごい。その後、観戦仲間と勝利を祝して乾杯を交わす。まちを愛し、楽しむ家族のとある休日。

13:00  
家族で公園へ行きピクニック



17:00  
スポーツバーへ行き、地元プロスポーツ  
チームのアウェイ戦をVR観戦



21:00  
VR観戦したメンバーで祝勝会



## ③子育て世代

8:00  
家から歩いて子供を幼稚園へ送る



10:00  
夜営業の飲食店をタイムシェアにより活用し、料理教室の講師をする。そして作った料理を生徒とともに楽しむ



14:00  
ママ友とカフェへ  
行き、ひと休み



15:00  
夕食の材料や日用品を買いに  
歩いて地元産の食材が豊富な商店へ



16:00  
買い物先からそのまま  
幼稚園へ子供を迎えに行く



16:10  
子供と一緒に歩いて帰宅



18:00  
地元産食材が多く並ぶ食卓で  
家族皆で夕食



家族皆の朝食や子供の幼稚園の準備など、子育て世代の朝はいつも忙しい。それでもミクストユースなまちなかは、幼稚園が徒歩圏内にあるためとても助かる。子供を送り出したら自分のための時間。趣味が高じて始めた料理教室で、季節食材を使った料理を皆で作る楽しむ。夕食も地元産食材が豊富な商店でじっくり選びながら決め、家族全員でおいしい夕食を楽しむ。ゆとりとこだわりのある、子育て世代のとある一日。

## ④シニア世代

7:00  
公園や川沿いを愛犬と散歩



8:00  
散歩途中に川沿いのオープンカフェでモーニング



10:00  
都市農園で自分で育てた野菜の収穫



11:00  
仲間と育てた野菜や食材を持ち寄り、シェアキッチンで皆で調理し、ランチパーティー



13:30  
職能を生かしたボランティア活動  
(市民学芸員として近代建築ツアーを牽引)



15:00  
公衆浴場で仲間と交流



16:00  
そのまま仲間と早い時間からやっている居酒屋で乾杯



愛犬との散歩が一日のスタート。新鮮な空気の中、川沿いを歩きながらオープンカフェへ。この店の野菜が好きだ。予約しないと入れないほどの人気店だが、モーニングはのんびり利用できる。昔からやっている野菜作りはこのまちへ移り住んでからも続けており、仲間を持ち寄り、ランチパーティーをするのがここ最近の楽しみだ。午後は趣味や仕事で学んでいた近代建築についてツアーを牽引。歴史ある建物がきれいに利活用されていて、案内するのがとても楽しい。そして早風呂、早居酒屋と好きな時間を仲間と過ごす。趣味に忙しくも、充実したシニア世代のとある一日。

## ⑤大学生

まちなかのシェアハウスに入居



9:00  
まちをサイクリングしつつ、沿道の店舗で焼き立てパンとコーヒーを購入



10:30  
公園でレポート作成をしながら食事  
(freeな通信環境)



11:30  
美術館やアートギャラリーへ行き、芸術に刺激を受け、冴えた頭で授業へ



13:00  
まちなかサテライトキャンパスで行われている授業に出席



16:00  
人気のオープンカフェでアルバイト。多くの地域の人々と知り合うことができ、コミュニケーションが増える



21:00  
シェアハウスへ帰り、ルームメイトと地域の人達を招いてのホームパーティー



思い出に残る学生時代を過ごしたいと思い、まちなかのシェアハウスに入居した。学校や専攻は違えども、面白いことを考え、行動する友人が多くいるこの環境が好きだ。いつものようにサイクリングついでに食事を買って、公園でレポート作業。ここで飲むコーヒーが美味しい。授業まで時間があるのでアート巡りへ。アートギャラリーやパブリックアートが多いこのまちは刺激的だ。まちなかで授業を受け、アルバイトへ。このまちは人と人の距離が近いのか、また新たな知り合いが出来た。シェアハウスへ帰ると、ルームメイトが地域の人を呼んでパーティーをしていたので、もちろん参加した。毎日がワクワクであふれている大学生のとある一日。

# ライフスタイルの提案について補足

提示した5つのライフスタイルを実現するために、必要な考え方や要素を補足します。

## 働く

起業やイノベーションを目指す人に対するスタートアップのフォロー体制づくりや、クリエイティブに働けるシェアオフィスの設置や通信環境整備、遊休不動産のリノベーションを目的としたマッチング、都心からの企業移転など。

## 住む

豊かなまちなか居住を推進するため、新築だけでなく、遊休不動産のリノベーションによる住宅や、シェアハウス、ライフステージに応じ変化できる住まい方、多様なライフスタイルを実現できる場づくりなど。

## 学ぶ

子供の教育のための施設はもちろんのこと、大人や地域の人々と交流できる場、前橋の地域学や地場産業技術を学ぶ場、移住者の職能を生かした授業や講座、人とともに成長し新しい価値を生み出す場など。

## 育つ（育む、育てる）

幼稚園や保育園、こども園だけでなく、子育て支援サービスの充実や、子育て世代の交流の場、地域で子供を見守る仕組みや場づくり。また、都市農園などの土に直接触れ、農産物を育て、皆で収穫し消費するような食育の場。

## 自然、緑

街路樹や公園などの行政がつくる緑だけでなく、オープンスペースや店先、壁面などを活用した緑化など、歩きたくなる空間づくり。近隣の街路樹や川沿いの空間を利活用したり借景とする店づくりなど。

## 健康、スポーツ

歩くことを基本とする「健幸」なまちづくり（スマートウェルネスシティ）、地域の大学と連携した健康づくりの場、ウォーキングやランニング、サイクリング、ヨガ、スポーツなどが楽しめる環境づくりなど。

## 食べる

赤城山麓の豊かな環境で育った安心安全で美味しい農畜産物を使用したここでしか食べられないメニューのある店や、まちなか環境に立地するレトロな店、クリエイティブなシェフによる個性的で独自性の高いここにしかない店など。

## 遊ぶ、楽しむ

前橋公園や広瀬川など、自然や文化を感じられる場でのイベントやアクティビティを日常的に開催したり、様々な世代が楽しめる遊び場づくり、ホテルやゲストハウスなどの、まちを楽しみそのまま宿泊できる場づくりなど。

## ICT、5G

現在で言うICTや5Gなどの通信技術の導入は、新たな働く場、遊ぶ場をつくるには欠かせないものである。時代の先端技術を常に見据えた環境づくりや、企業連携による体制づくりなど。

## 芸術、文学

アーツ前橋や太陽の鐘、アートギャラリーなどの芸術文化、前橋文学館や萩原朔太郎に代表される文学文化、来訪者に体験してもらう前橋ならではの地域文化など。